

「課題解決型高度医療人材養成プログラム」における工程表

申請担当大学名	東京医科歯科大学
連携大学名	東北大学、新潟大学、東京歯科大学、日本歯科大学
事業名	健康長寿を育む歯学教育コンソーシアム

① 本事業終了後の達成目標

本事業終了後の達成目標	
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業を通じて開設した各大学の独自コースを必修化し単位を付与する。(平成26年度の在學生は選択科目として受入れを開始し、平成27年度の新入生からは卒業要件への追加を行う。) ・開発した教育コンテンツをe-learning教材のライブラリーとしてアーカイブ化し、コンソーシアム内で相互利用を可能とするとともに、将来的には外部教育機関に公開し、全国波及させる。 ・新規に設置するコースを履修した學生が、将来コンソーシアムの大学院博士課程に進学し関連した研究に従事するようなキャリアパスを形成する。

② 年度別のインプット・プロセス、アウトプット、アウトカム

		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
インプット・プロセス (投入、活動、行動)	定量的なもの	<ul style="list-style-type: none"> ・長寿口くう健康科学コース新規受入れ: 歯学生2~6年生40名 ・異分野連携イノベティブ歯学展開コース新規受入れ: 歯学生5年生53名 ・口くう機能管理学コース新規受入れ: 歯学生2~5年生40名 ・地域社会に学ぶ新たな歯科医療プロフェッショナルコース新規受入れ: 歯学生2年生128名 ・地域連携ケアコース新規受入れ: 歯学生2年生128名 	<ul style="list-style-type: none"> ・長寿口くう健康科学コース新規受入れ: 歯学生2~6年生53名 ・異分野連携イノベティブ歯学展開コース新規受入れ: 歯学生5年生53名 ・口くう機能管理学コース新規受入れ: 歯学生2~5年生45名 ・地域社会に学ぶ新たな歯科医療プロフェッショナルコース新規受入れ: 歯学生2年生128名 ・地域連携ケアコース新規受入れ: 歯学生2年生128名 	<ul style="list-style-type: none"> ・長寿口くう健康科学コース新規受入れ: 歯学生2年生53名 ・異分野連携イノベティブ歯学展開コース新規受入れ: 歯学生5年生53名 ・口くう機能管理学コース新規受入れ: 歯学生2年生45名 ・地域社会に学ぶ新たな歯科医療プロフェッショナルコース新規受入れ: 歯学生2年生128名 ・地域連携ケアコース新規受入れ: 歯学生2年生128名 	<ul style="list-style-type: none"> ・長寿口くう健康科学コース新規受入れ: 歯学生2年生53名 ・異分野連携イノベティブ歯学展開コース新規受入れ: 歯学生5年生53名 ・口くう機能管理学コース新規受入れ: 歯学生2年生45名 ・地域社会に学ぶ新たな歯科医療プロフェッショナルコース新規受入れ: 歯学生2年生128名 ・地域連携ケアコース新規受入れ: 歯学生2年生128名 	<ul style="list-style-type: none"> ・長寿口くう健康科学コース新規受入れ: 歯学生2年生53名 ・異分野連携イノベティブ歯学展開コース新規受入れ: 歯学生5年生53名 ・口くう機能管理学コース新規受入れ: 歯学生2年生45名 ・地域社会に学ぶ新たな歯科医療プロフェッショナルコース新規受入れ: 歯学生2年生128名 ・地域連携ケアコース新規受入れ: 歯学生2年生128名
	定性的なもの	<ul style="list-style-type: none"> ・事業推進委員会の設置 ・教員FDの開催 ・キックオフシンポジウムの開催 ・受講學生及び教員に対するアンケート実施 ・評価委員会実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業推進委員会開催 ・合同FD/教育シンポジウム開催 ・受講學生及び教員に対するアンケート実施 ・評価委員会実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業推進委員会開催 ・合同FD/教育シンポジウム開催 ・受講學生及び教員に対するアンケート実施 ・評価委員会実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業推進委員会開催 ・合同FD/教育シンポジウム開催 ・受講學生及び教員に対するアンケート実施 ・評価委員会実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業推進委員会開催 ・合同FD/教育シンポジウム開催 ・受講學生及び教員に対するアンケート実施 ・評価委員会実施

アウトプット (結果、出力)	定量的なもの		<ul style="list-style-type: none"> ・異分野連携イノベティブ歯学展開コース修了者数:53名 ・長寿口く健康科学コース修了者:40名 ・口く機能管理学コース:40名 	<ul style="list-style-type: none"> ・異分野連携イノベティブ歯学展開コース修了者数:53名 ・長寿口く健康科学コース修了者:53名 ・口く機能管理学コース:45名 	<ul style="list-style-type: none"> ・異分野連携イノベティブ歯学展開コース修了者数:53名 ・長寿口く健康科学コース修了者:53名 ・口く機能管理学コース:45名 ・地域連携ケアコース修了者数:128名 	<ul style="list-style-type: none"> ・異分野連携イノベティブ歯学展開コース修了者数:53名 ・長寿口く健康科学コース修了者:53名 ・口く機能管理学コース:45名 ・地域連携ケアコース修了者数:128名 ・地域社会に学ぶ新たな歯科医療プロフェッショナルコース修了者数:128名
	定性的なもの	<ul style="list-style-type: none"> ・事業推進委員会において共有授業の設計及びコース内容の充実がはかれる。 ・本事業内容等が各大学内にて情報共有される。 ・キックオフシンポジウムを開催し、連携大学及び全国歯科大学・歯学部を広める。 ・アンケート結果を各大学ホームページにて公開する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業推進委員会においてコース内容が充実がすすむ。 ・合同FD/教育シンポジウム/サマースクールを開催し、事業内容を普及させる。 ・アンケート結果を各大学ホームページにて公開する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業推進委員会においてコース内容が充実がすすむ。 ・合同FD/教育シンポジウム/サマースクールを開催し、事業内容を普及させる。 ・アンケート結果を各大学ホームページにて公開する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業推進委員会においてコース内容が充実がすすむ。 ・合同FD/教育シンポジウム/サマースクールを開催し、事業内容を普及させる。 ・アンケート結果を各大学ホームページにて公開する。 	
アウトカム (成果、効果)	定量的なもの		歯学教育プログラム累積修了者数:133名	歯学教育プログラム累積修了者数:284名	歯学教育プログラム累積修了者数:563名	歯学教育プログラム累積修了者数:970名
	定性的なもの		<ul style="list-style-type: none"> ・受講者及び関係教員に、歯科の観点からの健康長寿に関する知識・理解が深まる。 ・5大学の連携教育により、質の高い教育資源が構築・蓄積されていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・受講者及び関係教員に、歯科の観点からの健康長寿に関する知識・理解が深まる。 ・5大学の連携教育により、質の高い教育資源が構築・蓄積されていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・受講者及び関係教員に、歯科の観点からの健康長寿に関する知識・理解が深まる。 ・5大学の連携教育により、質の高い教育資源が構築・蓄積されていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・受講者及び関係教員に、歯科の観点からの健康長寿に関する知識・理解が深まる。 ・5大学の連携教育により、質の高い教育資源が構築・蓄積されていく。 ・本事業で得られた教育資源を、外部に発信できるコンテンツとする。

③ 推進委員会所見に対する対応方針

要望事項	内容	対応方針
①	事業期間中は、PDCAサイクルによる工程管理を行った上で、全国の模範となるよう体系的な教育プログラムを展開すること。その際、履修する学生や医療従事者等のキャリアパス形成につながる取組や体制を構築すること。	PDCAサイクルによる工程管理を確実に行うため、工程表に基づき事業を推進する。体系的に教育プログラムが展開できるよう、5大学それぞれに設置する事業推進委員会における自己点検評価、内部評価委員会における内部評価及び外部委員による第三者評価を実施する。キャリアパス形成については、学年進行に応じた継続性のある医療人材養成プログラムとなるよう、卒後教育での健康長寿に関するプログラムも視野に置き大学院教育担当部署とも情報の交換を密に行う。
②	事業の実施に当たっては、学長・学部長等のリーダーシップのもと、責任体制を明確にした上で、全学的な実施体制で行うこと。また、地域医療の充実やチーム医療の推進の観点からも、学外の有識者にも積極的に参画いただき、事業の構想を実現できる体制を構築すること。	学部長が室長(総括責任者)である東京医科歯科大学歯学部課題解決型高度医療人材養成プログラム事業推進室を設置し、事業を推進する。各大学の附属病院に加え、連携機関である東京大学高齢社会総合研究機構、東京大学医学部在宅医療学拠点、新潟市社会福祉協議会、介護老人保健施設「池袋えびすの郷」、グループホーム「白山みやびの郷」、ロウリハビリテーション多摩クリニックの担当者の事業実施委員会及び運営委員会への参加、及び連携機関との連絡会・検討会の開催によって連携機関の意見を取り入れたプログラム設計を行う。
③	事業期間終了後も各大学において事業を継続することを念頭に、具体的な事業継続の方針・考え方について検討すること。また、多くの大学に自らの教育改革を進める議論に活用してもらうため、選定大学が開発・実践する教育プログラムから得られる成果等を、可能な限り可視化した上で、地域や社会に対して分かりやすく情報発信すること。	事業期間中、連携機関との協力体制を構築するとともに、5大学間の連携を密にすることにより健康長寿社会達成に貢献できる医療人を育成するプログラムを構築する。DVD、E-learning、実習書などの教材作成を行うことにより、他大学においても活用・普及できるプログラムの構築を目指す。本事業の活動については、平成28年度及び平成30年度の公開シンポジウム開催、ホームページ等を活用し広く情報発信を行う予定である。

④ 推進委員会からの主なコメントに対する対応方針

推進委員会からの主なコメント(改善を要する点、留意事項)	対応方針
5大学共通の共有必修科目と大学別の個別必修科目が共に15時間(東京歯科大学の個別必修科目は18時間)で講義するプログラムとなっているが、学生の学習状況に応じて十分な時間数等を確保することが望ましい。	まず各大学において、学生の成績に加え、年度ごとに行う学生及び担当教員に対するアンケート、評価委員会による評価により、次年度授業内容のブラッシュアップを実施する。更に連携大学間での情報を共有し、全体の授業構成について評価し、次年度、次次年度に反映させる。
多職種連携、地域連携に関しては、より実践的な教育プログラムを構築することを期待したい。	既に実施している地域連携、職種間連携、在宅歯科医療に関する講義及び実習との連動等も配慮しながら、実践的な教育プログラムを構築していく。
サマースクールが開設される予定となっているが、カリキュラムの構築に当たっては、歯学部学生の負担に配慮した工夫を行うことが望ましい。	御指摘に従い、夏季休業時における歯学部学生の負担を避けるため、サマースクールで予定していた内容を、通常の授業期間内で実施することとした。